



減CO2クラブ

2017 No.16

新しい啓発パネルが完成しました！

地域イベントなどで掲示する新しい啓発パネルを作りました。気候変動に関する現状や適応策のほか、COOL CHOICE の活動について Q&A で説明しています。1 セット 10 枚ですが、1 枚からでも貸出可能です。

パネルの詳細はふくおかエコライフ応援サイトのデータダウンロードページ

(http://www.ecofukuoka.jp/center/5746.html#dl_paneru) を参照ください。



COOL CHOICE 特設ページをご覧ください。

ふくおかエコライフ応援サイトのセンターページに COOL CHOICE 特設ページを設けました。

COOL CHOICE についての説明のほか、すぐにできるエコ活動の紹介、COOL CHOICE に賛同する福岡県内の企業・団体の紹介も行っています。

今すぐサイトをチェックして、COOL CHOICE に賛同、そして行動しましょう！

賛同はこちらから →

「COOL CHOICE」について紹介するよ！

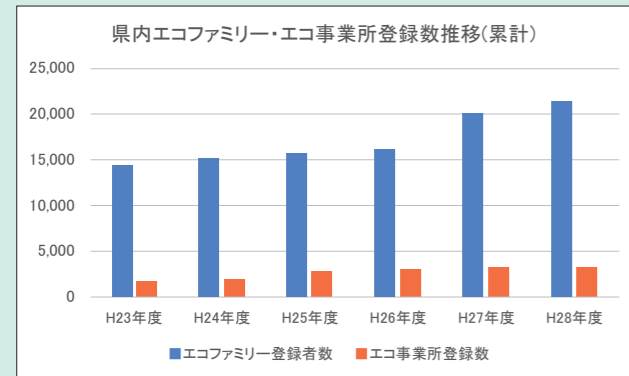
COOL CHOICE (クールチョイス) は、環境省が提唱する温暖化防止活動をテーマにしたキャンペーンです。

COOL CHOICE とは 1 賛同登録 2 賛同企業・団体 3 関連リンク 4

地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」にぜひ、ご賛同をお願いします！



エコトンの減 CO2 度チェック



福岡県内のエコファミリーは平成 28 年度末時点で 21,000 世帯を超え、現在もその数は増えています。エコ事業所登録数も少しずつ増えている状態です。

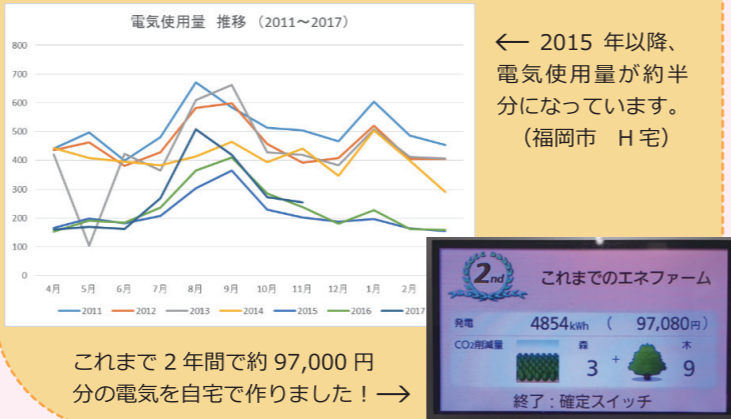
地球温暖化は大変大きな問題で、個人や一事業所では到底対応できるものではなく、みんなが一体となって取り組むことが肝要です。まずはエコファミリー、エコ事業所に登録して、どれくらいエネルギーを使っているかを知ることからはじめませんか？

エネファーム使用体験記

我が家では 2015 年 4 月より、エネファームを導入しました。エネファームとは、ガスから取り出した水素と空気中の酸素を使って電気を作り、そのときの廃熱でお湯も沸かしちゃう！という省エネシステムです。

エネファームを導入することで、月々のガス代はそれほど変わりありませんが、電気使用量が半分近く下がりました(下記グラフを参照ください)。

年間約 1.3t-CO2 の二酸化炭素排出量を削減できるといわれるエネファーム。これまでどおりの生活をしながら勝手にエコしてくれる優れものですよ！



第 7 期福岡県地球温暖化防止活動推進員が決定しました！

去る 4 月 12 日、第 7 期福岡県地球温暖化防止推進員^{※1}の委嘱式が福岡県庁にて行われました。今年委嘱された推進員は県内で計 94 名。任期は平成 31 年 3 月 31 日までの 2 年間です。

推進員には、地域における温暖化対策を推進するリーダーとして資質の向上に努め、自ら日常生活において温暖化防止活動を実践すること、福岡県や県センター、市町村等と連携して、一般家庭や事業所、学校などで温暖化対策が進むように環境家計簿の普及、学習会の開催や温暖化対策についての相談や助言を行うことなどが期待されています。

※1 温対法第37条1項に基づき、各市町村からの推薦を受け、福岡県知事より委託された方。



副知事から委嘱状を受け取る推進員リーダー

県内推進員の在籍状況

地域名	市町村別推進員数
北九州・京築	北九州市11名、築上町2名、行橋市・豊前市・苅田町・みやこ町・吉富町・上毛町各1名
福岡・筑紫	福岡市4名、春日市・大野城市・糸島市各2名、筑紫野市・大宰府市・那珂川町各1名
宗像・遠賀	中間市・宗像市・古賀市・福津市・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町・芦屋町・水巻町・岡垣町・遠賀町各1名
嘉穂・鞍手	飯塚市5名、嘉麻市4名、福智町3名、宮若市2名、直方市・田川市・小竹町・鞍手町・桂川町・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村各1名
久留米・北筑後	久留米市4名、朝倉市3名、大刀洗町2名、小郡市・うきは市・筑前町・東峰村各1名
大牟田・南筑後	八女市2名、柳川市・筑後市・大川市・みやま市・大木町・広川町各1名

県内の 60 市町村全てに、最低 1 人ずつは推進員さんがいるよ！



推進員の活動

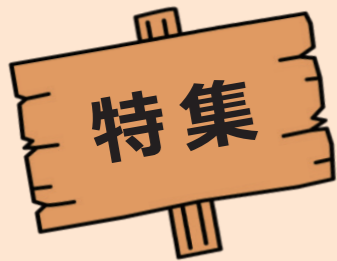
福岡県の推進員は、主に①地元のイベントに参加し、地球温暖化に関するブースを出展、②地元の幼稚園・保育園・小学校等に出向き講座の開催、③地域の団体(婦人会、老人会、食進会など)を対象とした講座の講演などを行っています。活動する上で必要な教材や資料は県センターや県内各環境事務所にて貸出しています。

県センターでは、推進員の活動を支援するため活動手引書を作り、全推進員に配布しています。



活動計画書の書き方や貸出資料について、推進員 94 名分のプロフィールも掲載しています。





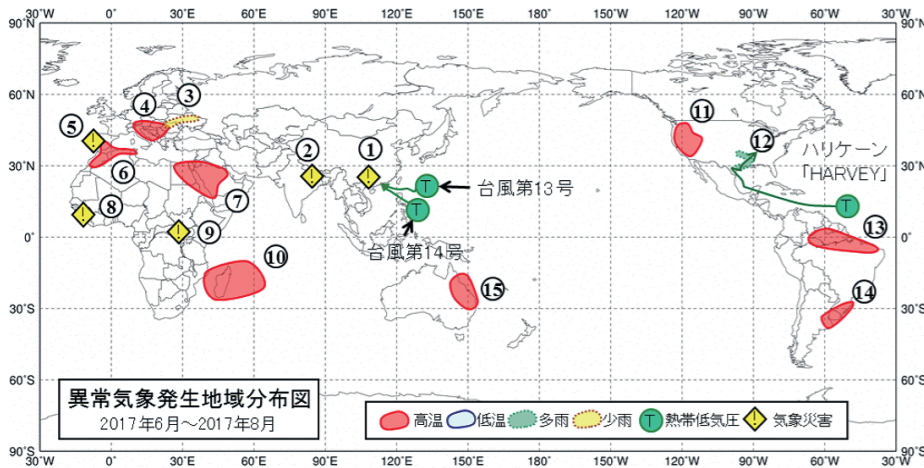
相次ぐ異常気象と脅かされる私たちの暮らし



今年の夏、九州を襲った豪雨。1時間当たり、最大129.5mmの雨が降りました。山の斜面が崩れ、大量の土砂と流木が町を襲い、その被害は有明海にまで及びました。一方、近年世界各地で大雨や強大化したハリケーンなどによる災害が後を絶ちません。地球上で今、何が起きているのでしょうか？

世界各地で起こる異常気象

2017年6~8月の世界で起こった異常気象・気象災害



出典) 気象庁 HP : <http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/seasonal/>

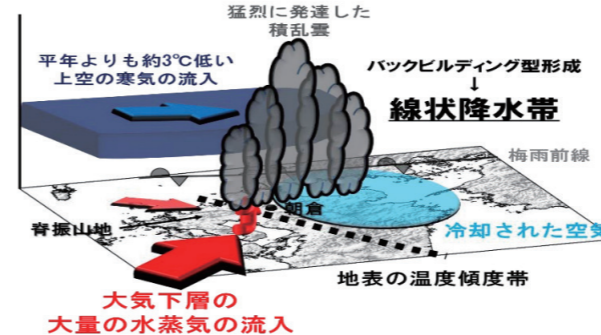
近年、世界各地で異常気象が多発しています。

今年6~8月の間に、各地で高温が続いたほか、アジアの一部やアフリカの一部では大雨による災害で、3,000人以上の方が亡くなったと伝えられています。

またアメリカでは8月下旬、9月上旬に相次いで超大型ハリケーンに襲われました。

海面水温の上昇が局所的な豪雨を招く

今回の豪雨の発生要因について、気象庁は次のように発表しています。



今回の大雨の発生要因の概念図

出典) 気象庁「平成29年度7月5-6日の福岡県・大分県での大雨発生要因について」2017
「平成24年7月九州北部豪雨」の発生要因について」2012

- ・太平洋高気圧の縁を回るようにして、東シナ海から大量の暖かく湿った空気が流入していた。
- ・上空には平年より3℃低い寒気が流入して、積乱雲が非常に発達しやすい不安定な大気状態だった。
- ・先に雨が降ったことで温度傾度帯が強化され、積乱雲が次々と発生して線状降水帯が形成された。

今回の大雨は線状降水帯が同じ場所に停滞したことで引き起こされました。この線状降水帯の強化・維持に、脊振山地が寄与していた可能性があるとして気象庁は指摘しています。

福岡でも起こった大水害

豪雨災害は、私たちの暮らす福岡県でも起こりました。7月5日13時ごろから夜にかけて、朝倉市や東峰村、大分県日田市付近で、1時間当たり最大129mmを越す大雨が降りました。この雨により福岡県内23市町村、大分県内15市町村に大雨特別警報が発令されました。

この豪雨による福岡県の被害状況は以下のとおりです。

人的被害：死者数 34名 行方不明者数 4名

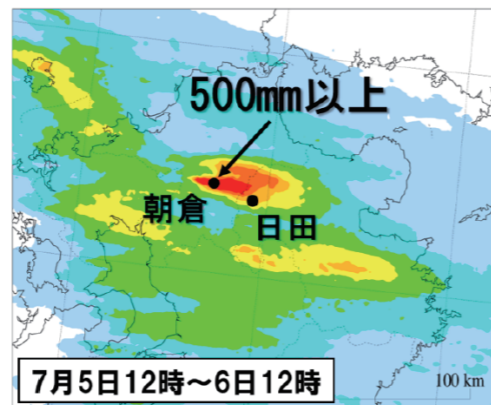
住宅被害：全壊 244件
半壊 826件
床上浸水 22件
床下浸水 557件

被害額(福岡県 8/20現在)：1,941億円程度

※道路・河川・砂防施設、農業・森林・林業、商工、教育施設・文化財等を含む。

この度の被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

出典) 九州地方整備局 防災パネル「平成29年7月九州北部豪雨」
福岡県「平成29年7月九州北部豪雨に関する情報(第120報)」
「平成29年7月九州北部豪雨における本県の被害額」



出典) 気象庁「平成29年度7月5-6日の福岡県・大分県での大雨発生要因について」2017



東峰村付近の状況 土砂崩れで道路が完全に寸断されています
国土交通省 国土地理院撮影

7月5日の12時から6日の12時までの24時間積算降水量分布(解析雨量、mm)

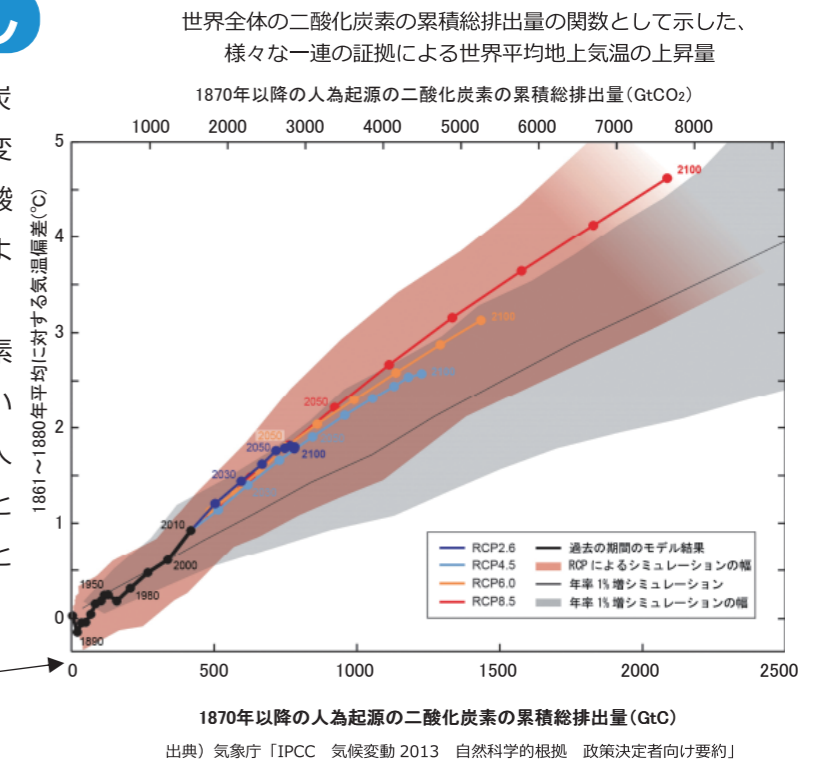
朝倉市では24時間で500mm以上の雨が降った。

気候変動と私たちの暮らし

私たちが普段生活する中で排出している二酸化炭素、これが地球温暖化を引き起こし、地球の気候を変えているといわれています(気候変動)。このまま二酸化炭素を出し続けると、こうした異常気象やそれによる災害はますます増えると予測されています。

こうした気候変動に対し、①原因である二酸化炭素を減らそうという「緩和策」と、②起こる影響について備えようという「適応策」があります。私たち一人ひとりが、生活の中で排出する二酸化炭素を減らすとともに、水害、熱中症などへの十分な対策をとることが求められています。

1870年以降排出してきた二酸化炭素の累積量と、世界平均地上気温はほぼ比例関係にあります。



出典) 気象庁「IPCC 気候変動2013 自然科学的根拠 政策決定者向け要約」